

天宙聖和 5周年を記念し、盛大に「聖和祝祭」

2017 孝情天宙祝福式に全世界で2万4千組が参加

真のお父様の聖和5周年を迎えた天暦7月17日（陽暦9月7日）、韓国・清平の清心平和ワールドセンターで「**文鮮明 天地人真の父母 天宙聖和5周年記念聖和祝祭—2017 天地人真の父母 孝情天宙祝福式**」が盛大に挙行され、約3万人が参列しました。天宙祝福式には、世界64カ国から会場に集った約4000組のカップルのほか、インターネット中継を通じて世界194カ国で約2万組が参加。先祖祝福式も同時に行われました。

本式典に先立ち、午前7時から天正宮博物館大講堂で敬拝式が行われ、真のご家庭をはじめ、元老食口、韓国と日本をはじめとする世界の公職者ら約800人が参席しました。

ユキヨンスク
その中で、司会の柳慶錫・世界平和統一家庭連合韓国会長は「天宙聖和5周年は、聖和祝福と結婚祝福の意味を込めた聖和祝祭として開催され、統一家の祝福家庭たちが孝情の思想と伝統を相続する場となります」とした上で、「聖和祝福と結婚祝福は統一家の心情文化の最も根本となる儀式です」と指摘。聖和式は地上生活を終えて天上で新しく生まれる儀式であり、祝福式は人類が天の父母様の真の子女となる儀式であると語り、「聖和祝祭」の意義を説明しました。

ムンソンジン
さわやかな水色の韓服姿の真のお母様が文善進世界会長を伴われてご入場。祭壇の聖燭に点火された後、お母様は一人で祭壇の前に立ち、静かに礼を捧げられました。

開会宣言、天一国の歌の斉唱の後、真のご家庭による敬拝、全体での敬拝と続きました。

家庭盟誓の唱和、報告祈祷、み言訓読の後、お母様が祭壇に準備された聖餐を召し上がられ、その後、霊界の真のお父様も召し上がられるように、お父様の食事に箸をつけていかれました。お母様から子女様とお孫様にお供え物が分け与えられ、会場の参加者にも聖餐の器が回されました。

敬拝式は、記念映像の上映の後、億万歳三唱をもって終了しました。

ミュージカルを織り交ぜ、華麗・荘厳に

午前9時30分から清心平和ワールドセンターで行わ



①真のお父様の尊影の前に立たれる真のお母様 ②天宙祝福式の後、会場に向かって手を振られる真のお母様と文善進世界会長 ③満員となった清心平和ワールドセンター ④聖水儀式をされる真のお母様 ⑤喜びの表情を見せる新郎新婦

れた本式典は、第1部として、記念映像の上映、報告祈祷などの後、「孝情の祝福」とのタイトルで孝情文化特別公演が「開演」。合間にミュージカルを交えながら、華麗かつ荘厳な演出で記念式及び祝福式が行われました。

最初に、全世界の二世圏による孝情特別公演チームが、会場後方から登壇してパフォーマンスを披露。また『野バラ』を歌うお父様の歌声が流れ、文信汝様が『カゴパ（行きたい）』を美しい歌声で歌い上げられました。

続いて、文善進世界会長が「聖和の辞」を述べられ、「5年前、お父様をお送りする時は悲しみの涙を流しましたが、きょう真のお母様を通して完成する、あなたの生涯と業績を見ながら、喜びの涙を流します」と涙ながらに語られました。

鄭元周 元 周 総裁秘書室長による記念詩の朗読の後、

舞台正面の祭壇上に真のお父様の尊影が降りて来ると、真のお母様が舞台中央にバラとユリの花を1輪ずつ手にして登場し、祭壇に献花をされました。

引き続き、介添え人が入場し、主礼の真のお母様が壇上に登場され、祝福式が執り行われました。

聖水儀式、聖婚問答の後、祝祷では、真のお父様の音声が会場に流れました。礼物（指輪）交換に続き、お母様が聖婚宣布で「天宙の前に聖婚が成立したことを宣布いたします」と力強く宣言されると、会場にファンファーレが鳴り響きました。

お母様への花束と礼物の奉呈、お母様が使用された“聖物”の下賜などが行われ、祝福式は閉幕しました。

趣向を凝らした大陸別公演が会場を魅了

第2部の「孝情文和祝祭」では、大陸別の公演

が行われ、米国チームを皮切りに、アフリカ、中南米、日本、韓国の代表がそれぞれパフォーマンスを披露。日本チームは、4人によるサックスの演奏に合わせて、ダンサーたちが「新しい生命の誕生」「祝福の喜び」「永遠なる世界に向けた出発」という「聖和」の3段階を表現する洗練されたダンスを披露し、会場を魅了しました。

昼食の時間には、「孝情宴 分かち合い大祝祭」として参列者全員に弁当が配られ、お母様と食事を共にする恩恵深い時間がありました。

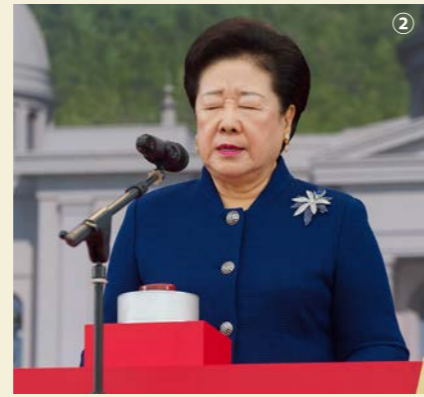
また、韓国の著名な歌手3人が真の父母様が愛された歌で会場を盛り上げた後、記念公演として韓国のユニバーサルバレエ団が創作バレエ「孝情沈清」を上演しました。

午後4時過ぎ、全体で父母様に敬拝をお捧げし、この日の式典は閉幕しました。

“人類一大家族世界、地上天国を必ず実現いたします”

「天地鮮鶴苑」 建立起工式に 4000 人

聖和祝祭と宇宙祝福式の勝利祝う午餐会



- ① 4000 人の参加者
- ② 祝祷をされる真のお母様
- ③ 真のお母様を中心にテープカット
- ④ 祝勝午餐会でケーキカットをされる真のお母様と文善進世界会長
- ⑤ 礼物を受け取られたお母様
- ⑥ 勝利提議をされるお母様
- ⑦ ロシアの民族舞踊を披露した二世たち
- ⑧ 日本の責任者たち



宇宙聖と5周年記念「聖和祝祭」の喜びと感動の余韻が残る9月8日午前9時から、天正宮博物館に至る山道の中程にある「天地鮮鶴苑」建設予定地で、全世界の教会指導者と代表食口たち約4000人が参加する中で、「孝情天苑 天地鮮鶴苑 建立起工式」が挙行されました。

起工式では、真のお母様への花束贈呈、報告祈禱などの後、天地鮮鶴苑建立推進委員会の洪善杓建設分科委員長が経過報告。天地鮮鶴苑には真の父母様の生涯の業績と共に、世界的レベルの文化芸術を展示すると述べた上で、「私たちだけの資産ではなく、大韓民国、さらに進んで世界的に文化的歴史的な価値がある資産として定着させていきます」と語りました。

また、韓国国会の金榮宇国防委員長が祝辞で、世界平和のために献身してこられた真の父母様の生涯を称えながら、「(天地鮮鶴苑が) 完成すれば、より多くの人たちが訪ねてきて、美しい自然環境を楽しみ、地球村の平和ビジョンを共有する生きた教育の場となると確信しま

す」と述べました。天地鮮鶴苑に関する真のお母様のみ言の映像上映の後、壇上に真のお母様を中心に関係者が整列し、お母様が祝祷を捧げられました。

その中で、お母様は「(天地鮮鶴苑が) 建立されることにより、この民族が悟り、世界万民がますます孝情の心情で感謝と栄光をおささげできるようになる、その日に向かって、私たちは進みます。天の父母様。共にいてくだされば、私たちは必ずや、成し遂げます。あなたの夢である、人類一大家族、地上天国を実現いたします」と涙ながらに決意を祈られました。

引き続き、お母様を中心にテープカットが行われると、音楽が流れ、紙テープが舞い上がりました。さらに合図に合わせてタッチボタンを押すと、参加者の後方から花火と祝砲が天高く打ち上げられ、出発を知らせる音楽が鳴り響きました。

最後に、日本の宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長のリードで億万歳四唱を行い、起工式は終了しました。

9月8日午前11時から、宇宙清平修練苑で「文鮮明 天地人真の父母 宇宙聖と5周年記念 聖和祝祭—2017 天地人真の父母 孝情宇宙祝福式勝利記念午餐会」が開催されました。

午餐会では、最初に金錫柄・孝情グローバル統一財団理事長が、真の父母様のみ言を実現しながら本然の天の園として「孝情天苑」がどのように造成されていくかを具体的に報告。

真のお母様が入場され、柳慶錫韓国会長夫妻が花束を贈呈した後、お母様が文善進世界会長と共に祝賀のケーキカット。全体を代表して柳慶錫韓国会長、宋龍天総会長、金起勲米國総会長、鄭元周総裁秘書室長の4人が真のお母様に礼物をお捧げしました。

続いて、お母様がお父様の聖和以降、公式に語られたみ言のほか、1960年の聖婚式以降、お母様が内外の集會等で語られたみ言を収録したみ言選集全4巻を、金榮輝・み言編纂委員会委員長と、史光基歴史編纂委員長が奉呈しました。

報告祈禱、前日の聖和祝祭とこの日の朝の天地鮮鶴苑起工式までを振り返る映像が上映された後、真のお母様がみ言を語られ、特に米国から訪れたキリスト教聖職者たちに向けて、「皆さん方は真の父母に出会ったので幸運な人たちです。過去の慣習を捨てて、真の父母様によ

て永生復活した、祝福家庭としての人生を生きましよう」と激励されました。

文善進世界会長ご夫妻をはじめとする世界の代表幹部たちが共に登壇する中、お母様ご自身が勝利提議(乾杯の音頭)をされ、「天の父母様の夢、天地人真の父母様の願い、人類の願いは、この地上に真の父母様がいらっしゃる間に、人類一大家族、地上天国を成すことです。そこに先頭に立って責任をなしますと決心する皆さん方となることを願います」と言われ、大きな声で「2020勝利!」とグラスを掲げられると、会場全体で「勝利!」を3回唱えて乾杯を行い、午餐の時間となりました。

文化公演では、東北大陸の二世たち24人が、鮮やかな色彩の民族衣装に身を包んで、ロシア民謡『カリンカ』などに合わせて軽快なダンスを披露。続いて、ヨーロッパ大陸の天一國合唱団が、オリジナル曲『Glorious Day』を管弦楽演奏と共に幻想的な美しい旋律で歌い上げました。最後は、アップルヘブンが登場し、『風の歌』や『希望の国へ』を熱唱しました。

フィナーレとして、リトルエンジェルスの特設公演が行われた後、最後は、マイケル・バルコム・ヨーロッパ大陸総会長が億万歳四唱を力強く唱え、午餐会は閉幕しました。

日本責任者集会における真のお母様のみ言

“一分一秒も変わらず、私と一つにならねばなりません”



み言を語られる
真のお母様



お母様に感謝の拍手を送る日本の責任者

9月9日午後2時、真のお母様が日本家庭連合の責任者を天正宮博物館に招待され、集会がもたれました。集会では、3人の地区長が今回の天宙祝福式に向けた取り組みなどを報告した後、お母様のみ言を語られました。以下は、その時語られた内容を翻訳・整理し、一部を抜粋したものです。(文責・広報文化局)

* * *

今日、真の父母様から祝福を受けて生きている、責任を果たしているあなたたちに、いよいよ解放を与えるのです。皆さんがすべて地上でその生涯を終えて霊界に行ったとき、お父様の前に誇らしい孝子、孝女の姿で行くべきではないですか。

それでは未来の皆さんの子孫の前には、過去2000年前のイスラエル民族やキリスト教徒たちとは違って、天の父母様の夢、真の父母様の夢を現実に、地上に成し遂げ、残していくのです。そして今日における実績、残して見せてあげるものがある、そうするのが重要でしょう。そうですか？ そうじゃないですか？ 天の父母様の夢、真の父母様の夢とは、人類一族ではないですか。地上天国、天上天国ではないですか。必ずや、私が地上にいる間に、そのようなすべてを成さなければなりません。

神様がこの世界を創造する時、永久的、永遠に持続して、公害がないように創造されました。人間がこの自然をやたらに破壊しているのではないですか。それで私が科学者大会をはじめ、人間の無知によって破壊されたこの地球を復活させて、生かさなければなりません。そうしなければ、人類の未来がないではないですか。神様の創造がどうなるべきなのかは言えません。このような警告を天がして下さっているのに、悟ることができず、個

人的な考えで、地上生活が永遠でない人間が間違った考えをしていることが、あまりにも多いのです。

中国も日本も、自国の利益だけを考えてはいけないうことなのです。

天の父母様の夢は人類一族です。平和な人類一族、地上天国、共に皆と一緒に幸せな世界を天に奉じて、その中心に真の父母がいるのです。真の父母のみ旨とみ言と、行動が一つにならなければなりません。

そのためには、まだ私たちは少数でしかありません。74億人類を考えてみたときに、どれだけ忙しいかわかりません。

この74億人類は、本心では皆が平和に自由に幸福になることを願っているではありませんか。

それを願っています。そのような道に行きたいのです。ですから、彼らに方向を教えなければいけません。「あっちに行こう、そこに私たちの父母様がいらっしゃる」と教えなければいけません。ですから一つになりましょう。そうなるためには、皆さんの考えと行動が私と一つにならなければなりません。そうですか？

それで私が学生たちの前で、今度のトップガン修練生の前で、「この世界、創造世界について天の父母様と真の父母様が99.99%をすべて作っておいた、あなたたちはただ0.01%だけ」と話しました。

天が描いておいた(パズルの)絵だとすれば、そこにその小さな分野(ピース)を合わせなければなりません。それをしなければなりませんか？ してはいけませんか？ 最後の仕上げをしっかりとしなければいけません。結果をしっかりと仕上げなければいけません。

そのためには、私が皆さんに拍車をかけるために、1分1秒でも、私の命令に、一直線に一つにならなければなりません。

「私」を無くして真の父母様と一つになろう

全教区で一斉に「第14次40日路程」出征式



第4地区の「出征式」の参加者



メッセージを語る宋総会長



挨拶をする徳野会長

天宙聖和5周年「聖和祝祭」・孝情天宙祝福式の喜びと感動が冷めやらぬ9月12日、「VISION2020勝利に向かう『中断なき前進』第14次特別精誠路程」の出征式が、全国各教区の大聖殿で行われ、各地の牧会者・婦人代表、中心食口が参加しました。

日本の家庭連合は「孝情の涙で天宙聖和5周年を迎えよう！」をテーマに、「第2次120日特別路程」(5月10日～9月6日)を勝利的に奉獻。その土台の上で、9月12日から10月20日までを「第14次40日路程」と定め、来年2月の真の父母様の御聖誕日に向けた「第3次120日特別路程」のための準備期間として、「中断なき前進」をしていく方針です。

宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長と徳野英治会長を迎え、宮崎台国際研修センター(川崎市)で行われた第4地区出征式は、全国の教区をインターネット中継で結んで「全国教区連合出征式」として行われ、神奈川、千葉、山梨の牧会者・婦人代表をはじめ、本部の局長など約500人が参加。真のお母様をお迎えして10月に開催される神奈川1万名大会の勝利に向けて弾みをつける時間となりました。

出征式は、李成萬本部長の司会で開幕。田中富広副会長の代表報告祈禱、真のお母様のみ言をまとめた映像上映の後、徳野英治会長が挨拶を行いました。

その中で徳野会長は、聖和5周年記念行事に参加した所感を述べ、「真のお母様のリーダーシップの偉大さと奇跡を見ることができました」と強調。また「お母様はご在世時に、地上天国のひな型を何としても清平につくりたいと強い決意を固めておられます」と語り、「最

高の精誠を込めてお母様に喜びをお捧げし、世界に希望を届けていく母の国・日本となっていきましょう」と呼び掛けました。

続いて、宋龍天総会長が「真の父母様と一つになる瞬間」と題してメッセージを語りました。

宋総会長は「天の父母様と真の父母様と一つになる瞬間には絶対に『私』がなくならなければならず、これが影のない“正午定着”を意味します。私を中心としたすべてのものを無くして、完全かつきれいな“新しい皮袋”になれば、私たちはいつでも(新しい葡萄酒である)天の父母様と真の父母様を入れて『一つになる瞬間』を迎えるのです」と説明。

その上で、宋総会長は「過去の慣習を完全に捨て、祝福家庭として天の父母様と真の父母様と一つになった瞬間を1日、1週間、1月、1年と継続し、永遠の命の生活を送らなければなりません。そのための出発が今回の第14次40日路程です。この期間において、私たちは自らをもう一度振り返り、新たな出発のための基台を造成し、『中断なく絶えず前進』しておられるお母様の孝情の伝統を継承しなければなりません」と強調。最後に「天の父母様の前に誇らしい姿で、実績を備え、全世界の前に模範になることのできる日本家庭連合の食口となっていましょう」と訴えました。

引き続き、全国の各教区で出征式が行われ、地区長・教区長による「出征の辞」の後、牧会者・婦人代表が決意表明。参加者全体で「勝利の日まで」を讃美し、億万歳三唱を行い、出征式は閉幕しました。



天宙祝福式に臨まれる真のお母様



「聖婚問答」をされる真のお母様



喜びいっぱいのカップル



笑顔を見せる新郎新婦



新郎新婦の代表から礼物を受け取られた真のお母様



祝祷を受ける参加カップル

慶 2017 天地人真の父母 孝情天宙祝福式 祝



感謝の拍手を送る参加カップル



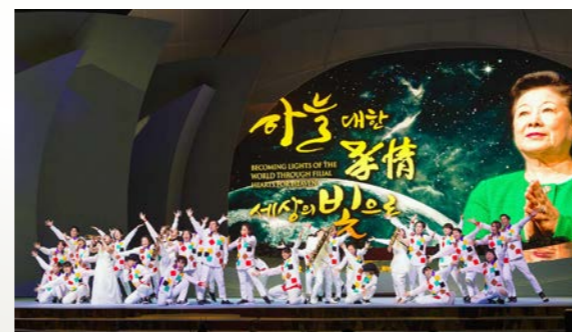
天宙祝福式に臨む新郎新婦



会場の清心平和ワールドセンターには約3万人が詰めかけた



カメラに向かってハートのポーズ



会場を魅了した日本チームのパフォーマンス



日本の祝福参加者を乗せたバス



インターネット中継を通じて天宙祝福式に参加した南東京教区のカップルたち(東京・渋谷の松濤本部)

西大阪・吹田家庭教会で献堂式

8月27日、宋龍天総会長を迎えて西大阪教区吹田家庭教会の献堂式が行われ、教会員およそ220人が参加しました。

献堂式では、教会堂の前でテープカットを行った後、礼拝堂ではコーラス隊が素晴らしい歌声を披露し、献堂式に花を添えました。

宋総会長は記念説教で、「原理講論」「真の父母様」「み言」が家庭連合の信仰の三つの中心軸であると指摘。それぞれの内容を分かりやすく解説し、それら

の重要性を力強く訴えました。

記念説教は、インターネット中継を通じて地区内の全教会に配信され、「第8地区連合礼拝」として、聖和5周年に向けて地区全体が心一つにする時間となりました。

献堂式に参加した食口たちは、天の祝福を受けた吹田家庭教会が、これからさらに大きく発展していくことを祈りつつ、新たな出発していきました。



献堂式の参加者



説教を行う
宋総会長



素晴らしい歌声を
披露したコーラス隊

愛知で御嶽山聖和者聖和3周年追慕礼拝

9月10日、愛知県豊田市内の会場で「御嶽山聖和者3周年追慕礼拝」が行われ、約280人が参列しました。

追慕礼拝は、代表報告祈祷、追慕映像の上映に続き、天父報恩鼓の演舞では、聖和者の弟や姉妹もそれぞれの思いを胸に演舞を行いました。

続いて、徳野英治会長のメッセージを澤田拓也総務局副局長が代読。徳野会長はメッセージの中で、水野家、三宅家、伊藤家、長山家の近況を細かく紹介しながら、遺族に対する慰労と激励の言葉を贈りました。

献花の後、4家庭の代表がそれぞれ、聖和者4人に向けた手紙を読みました。

その後、鄭光根東愛知教区長が「人間の三段階の生涯」と題して説教を行い、最後に遺族を代表して伊藤光夫さんが挨拶を行いました。



聖和者への
手紙を読む遺族



天父報恩鼓の演舞

西埼玉・大宮家庭教会が「孝情文化フェスティバル」開催

8月27日、西埼玉教区大宮家庭教会主催「孝情文化フェスティバル」がさいたま市内のホールで開催され、新しく参加した17人を含む344人が集まりました。

学生と青年のダンスパフォーマンスを皮切りに、聖歌隊の讃美、青年スピーチがお行われ、崔成烈教区長が主催者挨拶を行いました。

小熊ファミリーアンサンブルの美しい演奏に続いて、田中富広副会長が“孝情”と結婚・家庭をテーマに講演。参加者からは「とても分かりやすく、た

めになった」という感想が多く寄せられました。

最後に、バンド演奏、フィナーレと続き、抽選会を行ってフェスティバルは閉幕しました。



田中副会長



フェスティバルのフィナーレ

奈良で聖和5周年記念「心の書写フェスティバル」

9月3日、奈良市内の会場で「文鮮明先生聖和5周年記念心の書写フェスティバル」が開催され、約1000人が参加しました。

第1部のエンターテイメントでは、二胡の演奏やモンゴル伝統音楽ホーミーと馬頭琴の演奏、コーラス隊「グリーングラス」「コスモス」によるコーラスなど個性豊かなプログラムが参加者の心を魅了しました。

続く第2部では、まず聖和5周年を迎える文鮮明

先生の生涯に敬意をして全体で敬礼。聖歌讃美、書写の証し、滝口利浩実行委員長の挨拶などの後、徳野英治会長が「人生で最も大切なもの」と題して講演。「愛情の大切さ」「結婚の素晴らしさ」「家庭で育む四大愛」を強調しながら、初めての参加者にも分かりやすくメッセージを語りました。

最後の大会抽選会では、会場のあちこちで歓喜の声が湧き上がっていました。



書写フェスティバル



講演を行う徳野会長



コーラス隊「グリーングラス」

愛媛・松山家庭教会が「野外礼拝」

8月27日、愛媛教区松山家庭教会は、愛媛県伊予市内の海岸で野外礼拝を行い、多くの家族連れを含む103人が集いました。

全柱奉教区長の説教の後、全員で地引き網を体験。子供たちは巨大ハリセンボンに大喜びをしていました。

昼食としてバーベキューでお腹を満たした後、スイカ割りとお宝探しゲームを行い、晩夏の一日に楽しい時間を過ごしました。



野外礼拝の参加者



ハリセンボンを抱える少年